

焼津市景観計画

別紙 2

焼津らしい景観地における定点観測による評価(案)

焼津らしい景観地は、それぞれの場所が有する景観特性や景観まちづくりの方針を基に分類した上で、景観形成の方向性を示す。

「保全型」…既にある優れた景観を保全しつつ、より向上させていくもの。

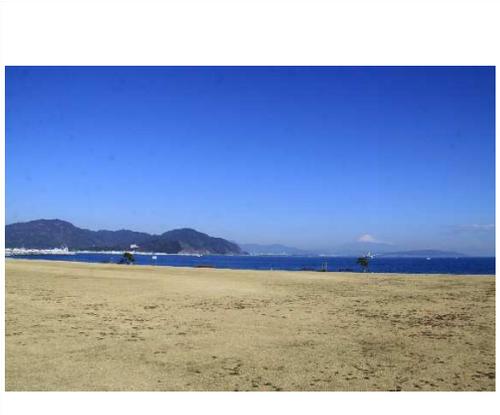
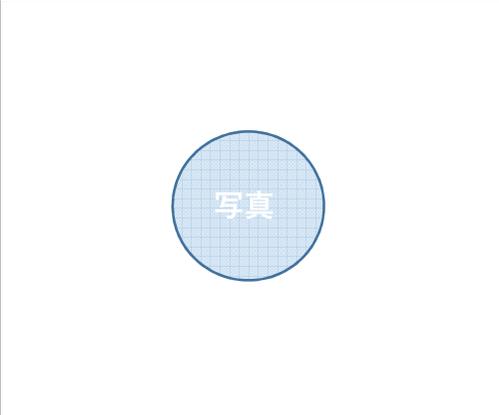
「活用型」…見過ごされていた景観資源の価値を再認識し、必要に応じて改善することで、まちづくり等に活用していくもの。

「創出型」…市の玄関口や公共施設がある場所など、本市にとって重要な場所で、新たに良好な景観を創出していくもの。

令和5年8月

焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	①石津浜海岸（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	石津海岸公園（芝生広場中央四阿付近）	撮影方向	富士山、駿河湾方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・景観重要公共施設に指定されており、駿河湾越しに富士山や伊豆半島が一望できる。景観を阻害する工作物等は確認されず、従前どおり良好な見渡す景観が保全されている。 ・やいづビーチクリーン大作戦（海岸一斉清掃）等、近隣住民が一体となり、美化活動に努めている。 ・周辺の防波堤上では潮風を感じながら散歩やランニングをする人の姿も多く見受けられる。また、石津海岸公園や隣接する石津浜公園では、子供たちが球技をしたり、お年寄りがグランドゴルフをしたりと老若男女がレクリエーションの場として利用している。ベンチも多く設置されており、市民の憩いの場になっている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

石津海岸公園（芝生広場中央四阿付近）

位置図



拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	②和田浜海岸（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	和田浜海岸（ディスカバリーパーク焼津天文科学館前）	撮影方向	富士山方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
撮影時期 平成29年 1月	令和 4年 2月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・石津浜海岸まで続く松林、連続性のある堤防の先に富士山を眺めることができ、奥行きのある景観が保全されている。 ・観光交流施設「ディスカバリーパーク焼津」は緑に囲まれ、自然豊かな景観と調和している。多くの観光客が同施設を訪れ、松の散策路から海岸に出て、この景色を眺めている。 ・和田浜海岸を含む小川港以南は、堤防の上を歩けるように整備されており、一連の海岸線が地元住民に親しまれ利用されている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

和田浜海岸（ディスカバリーパーク焼津天文館前）

位置図

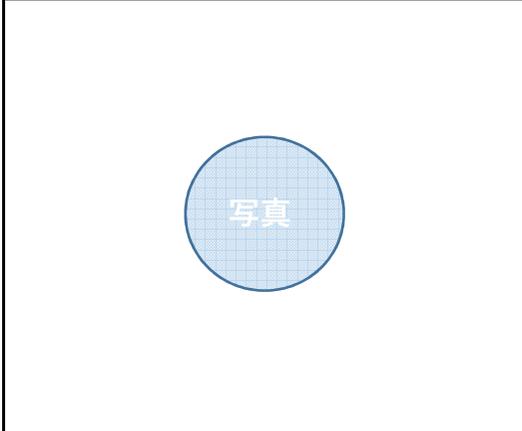


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

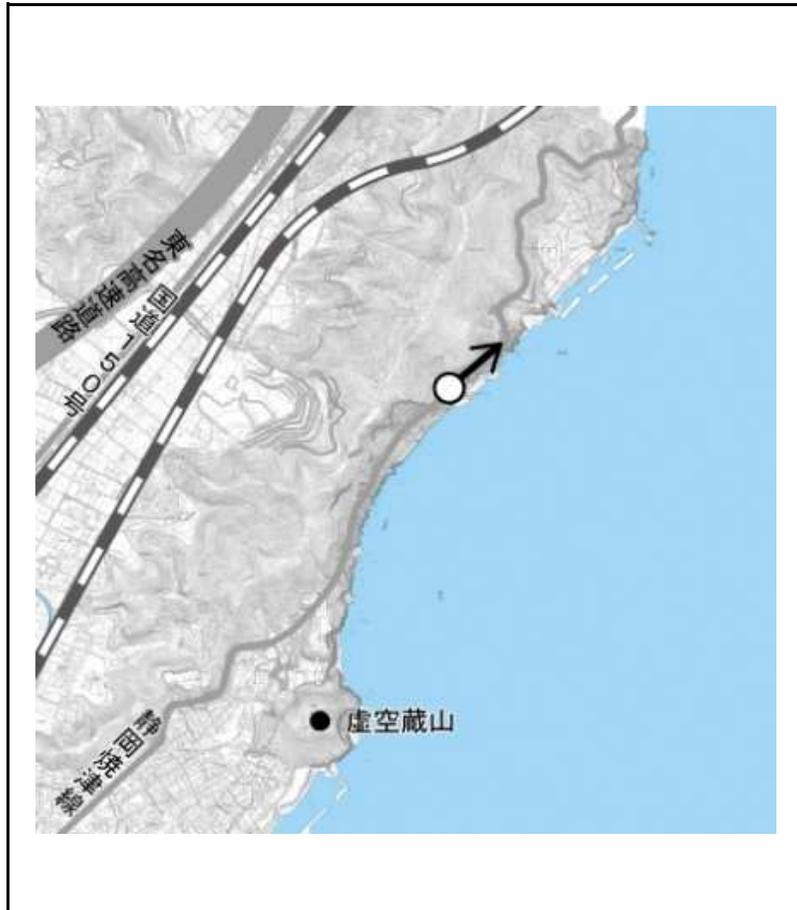
番号	③大崩海岸（（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	（県）静岡焼津線（浜当目トンネル入口）	撮影方向	駿河湾方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年7月	令和 4年 2月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・大崩海岸のシンボル道路である県道静岡焼津線は景観重要道路とされており、観測地点から眼下に雄大な駿河湾を望む見下ろす景観が保全されている。景観について、眺望を著しく阻害する工作物等は確認されず、電柱の巻き付け広告物や工事用看板が取り除かれ、よりすっきりとした印象を与えている。 ・岩肌が露出する斜面緑地は大崩海岸景観の特長の一つである。 ・車窓から眺めることの多い大崩海岸は、安全確保の観点から道路付属物が一定数設置されており、道路付属物の配置や色彩については、今後も適切に管理していく必要がある。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
県道静岡焼津線（浜当目トンネル入口）
位置図



拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番 号	④虚空蔵山（保全型）	検証時期	10月～2月
位 置	虚空蔵山山頂（船舶無線電信発祥の地記念塔付近）	撮影方向	大崩海岸方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観測地点では駿河湾越しの富士山が木々の合間から姿を見せている。山頂から見下ろす景観は、焼津の特徴的かつ魅力的な景観として保全されている。 ・ 周辺の樹木の成長により遠景が望みにくくなっている。樹木が景観を阻害する恐れがあり、景観保全のために樹木の管理及び対策を講じる必要がある。 ・ 虚空蔵山では石造物等の歴史資源が並び、荘厳な雰囲気味わいながら山頂までハイキングをする人々が見受けられる。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
虚空蔵山山頂（船舶無線電信発祥地の記念塔付近）
位置図

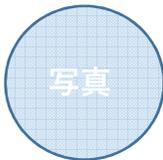


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

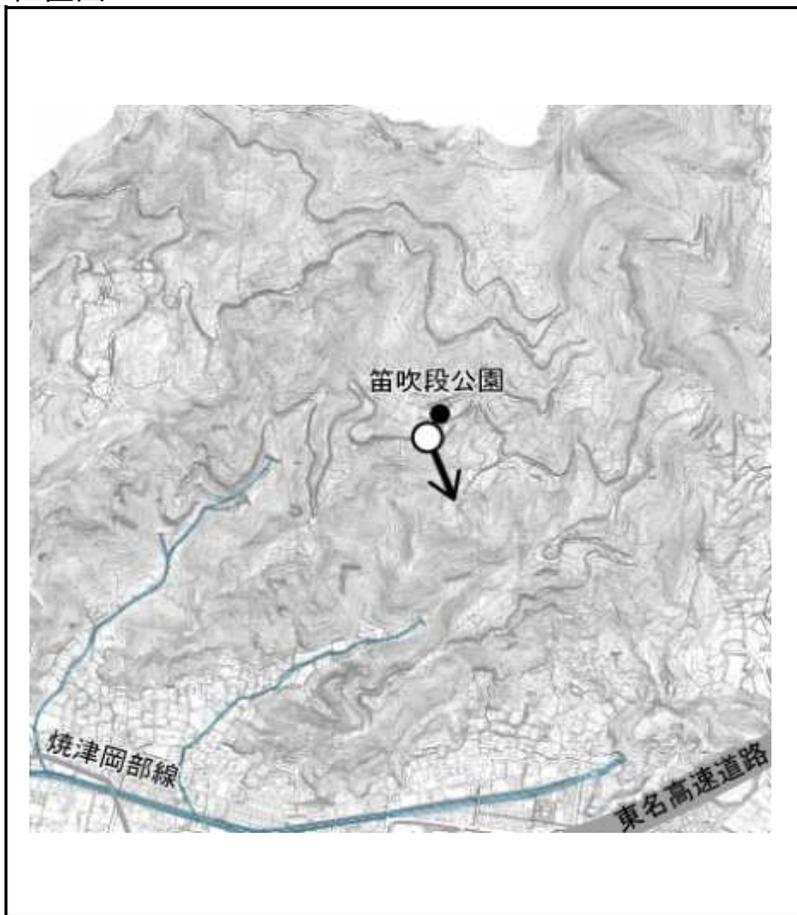
番号	⑤高草山中腹（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	笛吹段公園（四阿付近）※パノラマ写真	撮影方向	駿河湾、志太平野方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月 日

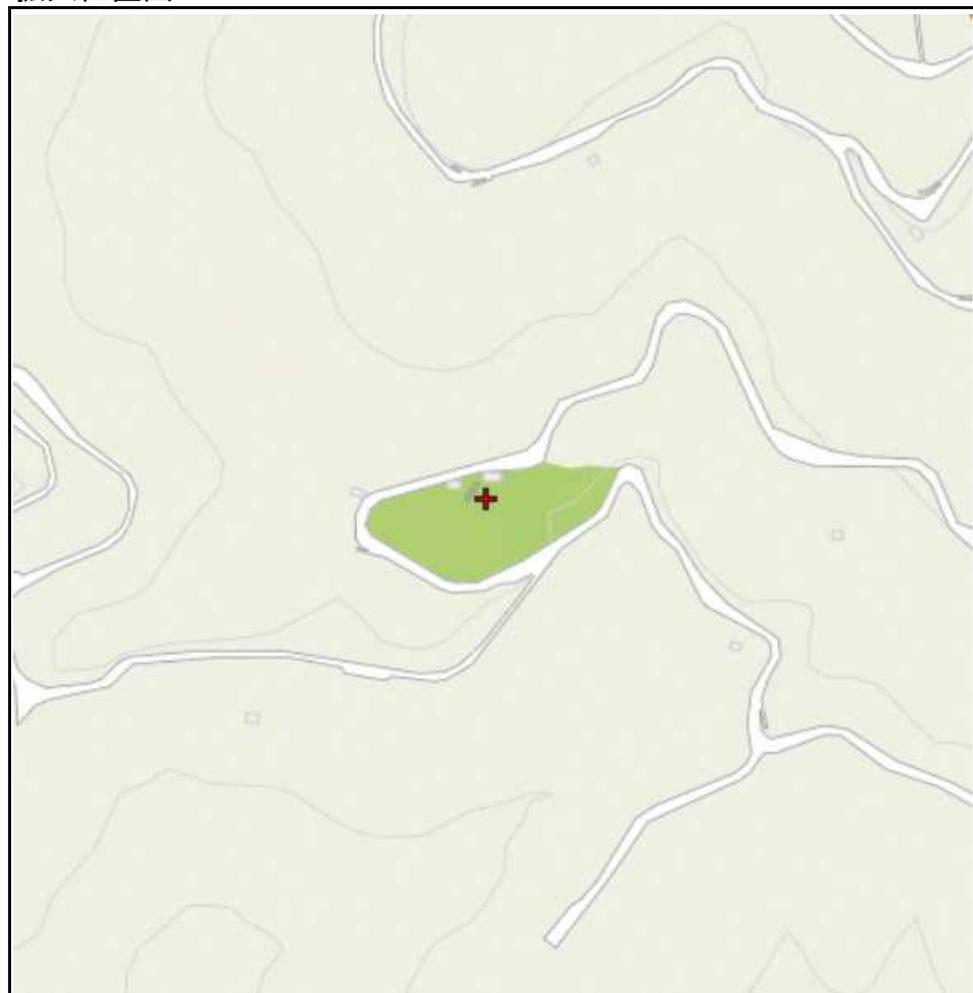
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・斜面緑地、茶園越しに志太平野の市街地と駿河湾を見下ろすことができる、良好な景観が保全されている。 ・近年の健康ブーム、新型コロナウイルス感染症の影響によるアウトドアブームも相まって、高草山中腹にある笛吹段公園は高草山ハイキングコースの休憩場所として、多くのハイカーに利用されている。ベンチで談笑したり、芝生の上で寝転がって休憩したりと、各々が景観を眺めながら安らぎの時間を過ごしている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
笛吹段公園（四阿付近）
位置図



拡大位置図



別紙：⑤パノラマ写真

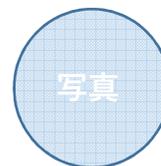
平成29年（当初）



令和4年（2022年）

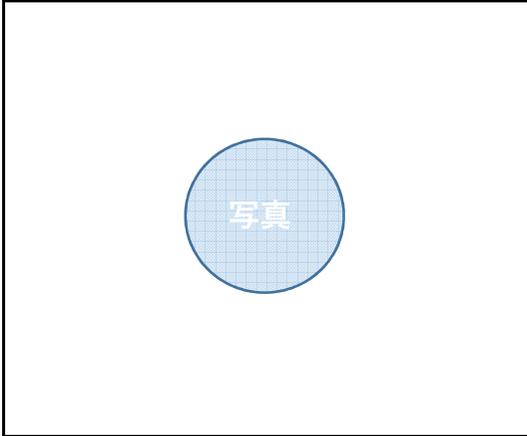


令和9年（2027年）



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑥大井川（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	大井川河川敷運動公園多目的グラウンドA（四阿付近）	撮影方向	大井川上流方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月

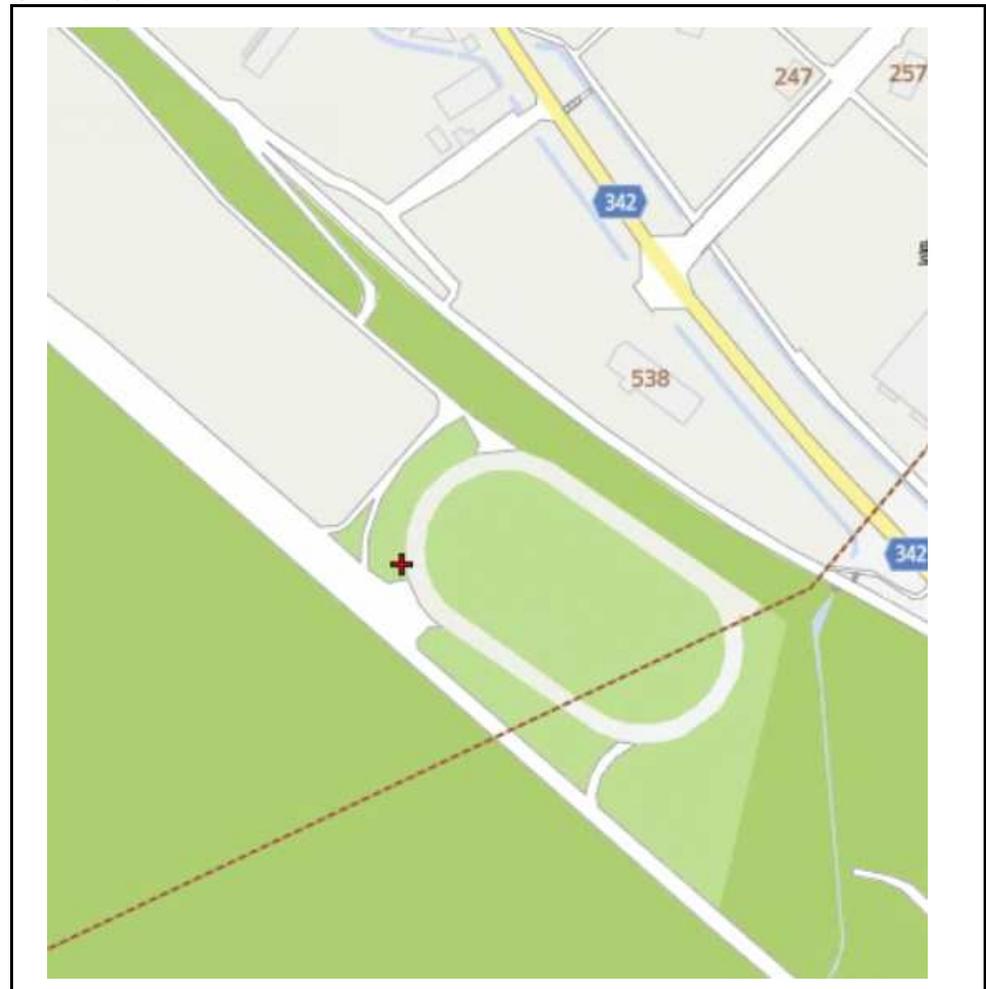
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観を阻害するものは確認されず、河川敷の開放的な空間から上流の橋梁越しには南アルプス等の遠景を望むことができ、雄大な河川景観が保全されている。 ・ 景観重要河川である大井川は、雄大な河川景観を形成し河川敷の緑豊かな環境が多くの市民に親しまれている。また、河川敷に連なるマラソンコース「リパティ」では、マラソンや駅伝が開催されているほか、ジョギングやウォーキングなど市民の健康づくりの場として利用されている。 ・ 今後も河川沿いの緑の保全に努める。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
大井川河川敷運動公園多目的グラウンドA（四阿付近）
位置図

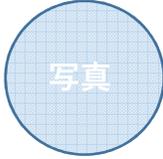


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑦浜当目海岸（保全型）	検証時期	10月～2月
位置	浜当目海岸（南端）	撮影方向	虚空蔵山方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月

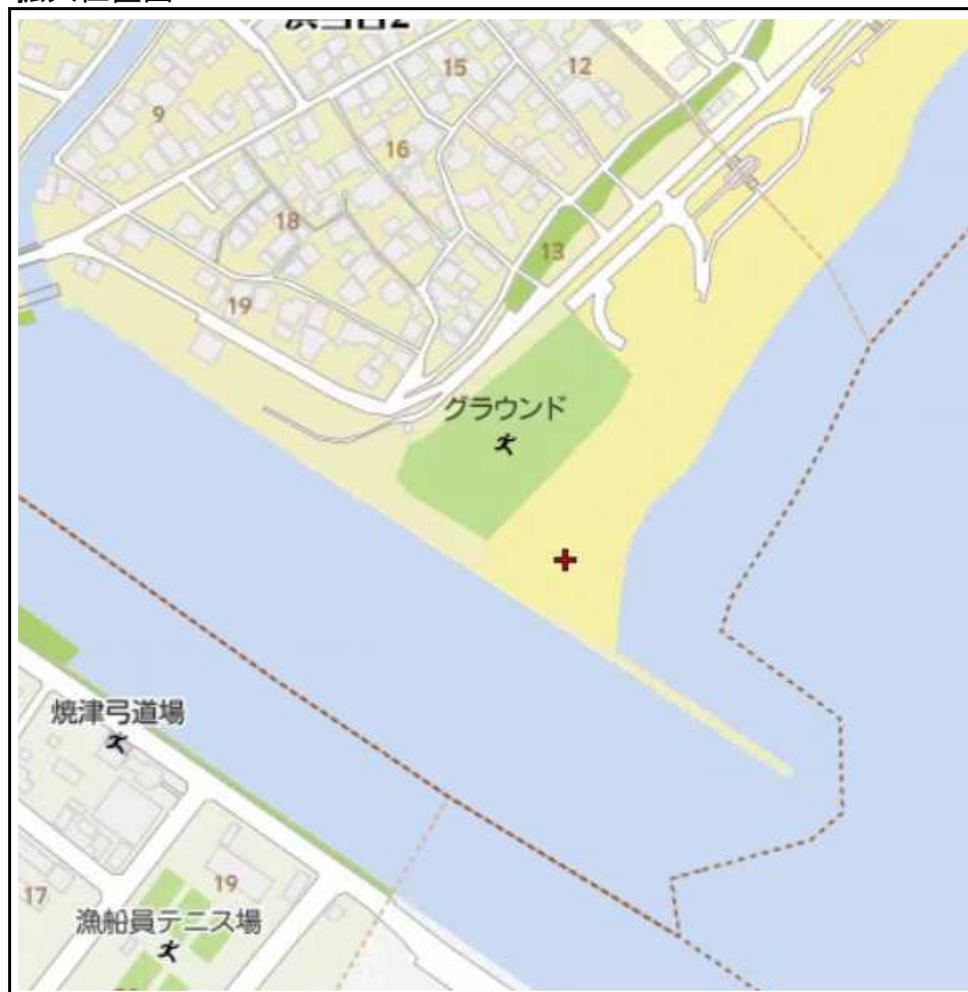
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・浜当目海岸は景観重要公共施設に指定されており、浜当目海岸と虚空蔵山が美しい景観を形成している。 ・近年は海岸浸食による砂浜の減少が起きている。 ・地元自治会や地元企業等の同海岸の美化活動により漂着ゴミや流木が取り除かれ、美しい景観が保全されている。今後も良好な海岸景観の保全並びに住民の景観に対する意識の醸成を図っていく。 ・志太地区唯一の海水浴場であり、波も穏やかで水質も良好な浜当目海水浴場は、海開きになると多くの人が海水浴を楽しむ景観を見ることができる。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
浜当日海岸（南端）
位置図

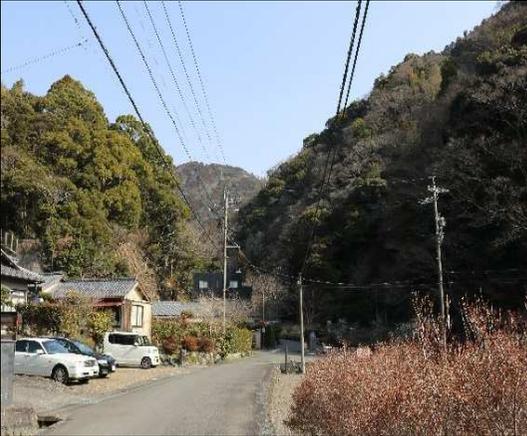
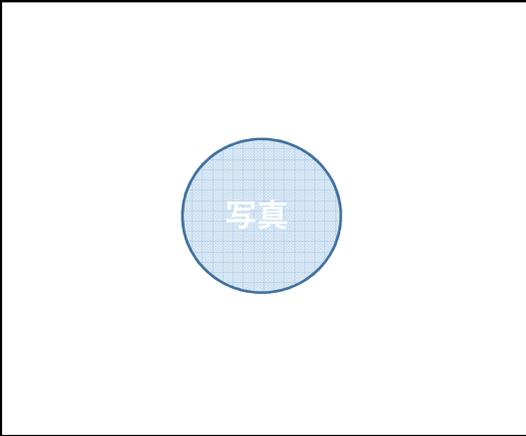


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑧花沢の里周辺（活用型）	検証時期	指定なし
位置	（市）高崎花沢線（吉津川付近）	撮影方向	観光駐車場、花沢の里方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 7月	令和 4年 11月	令和 年 月

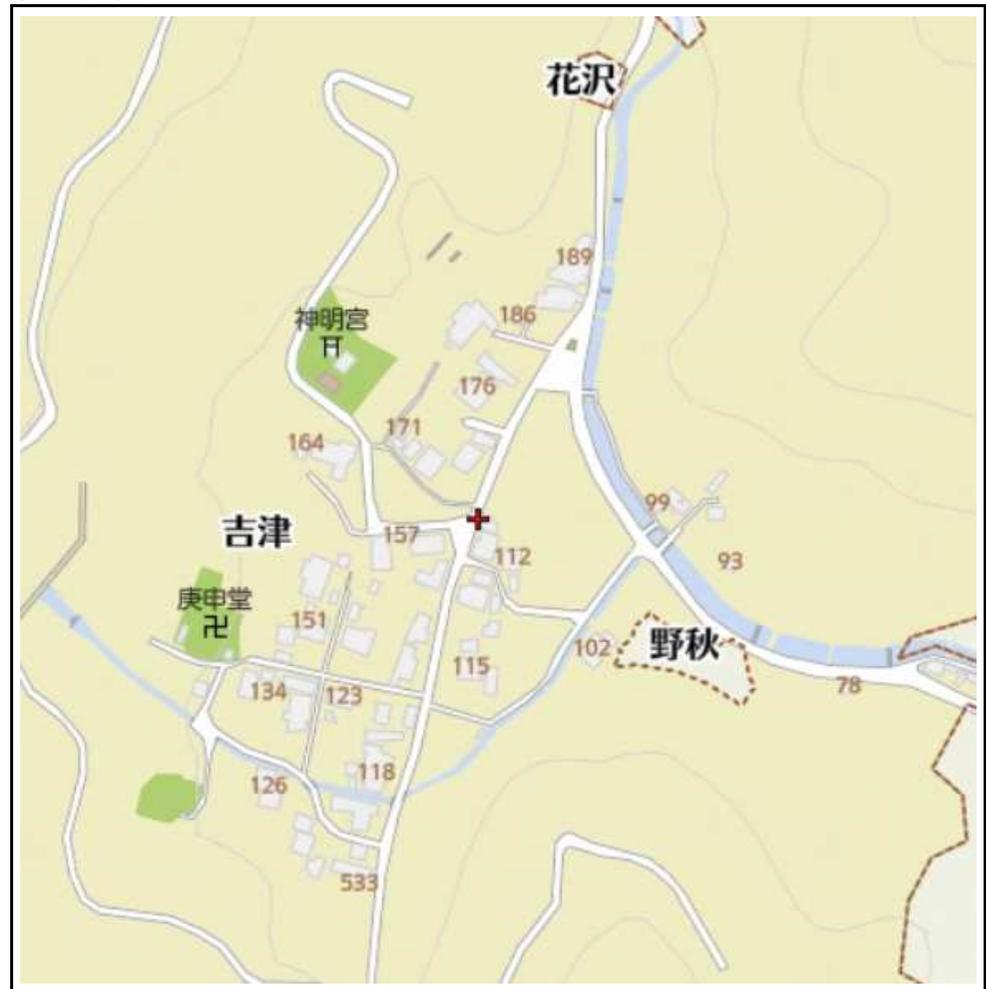
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・花沢伝統的建造物群や石垣・河川・山々の緑が一体となり、歴史的景観を形成している。 ・観測地点周辺での家屋の塗装の塗替えの際には、景観計画の基準に合った色彩が採用された。 ・風情ある景色や自然を楽しめる空間があり、休日を中心にハイカーが散策する姿が多く見られる。 ・歴史的景観の保全及び地区の安全を図るため、長年空き家になっていた古民家を文化庁や静岡県補助を得て整備し、花沢地区の歴史文化を紹介する見学施設、休憩場として花沢地区ビジターセンターを開設した。同エリアのまちづくりの拠点として活用している。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
(市)高崎花沢線(吉津川付近)
位置図

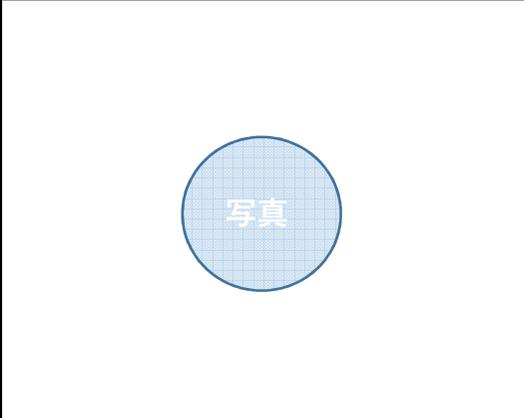


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑨浜通り周辺（活用型）	検証時期	指定なし
位置	（主）焼津榛原線（バス停「横町」付近）	撮影方向	県道上青島焼津線との交差点方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 9月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部特有の伝統的家屋や小路等が点在し、水産業の歴史と文化が感じられる。 ・焼津市の景観まちづくり重点地区であり、建築行為等に制限がかかっているものの壁面の位置について強制力はなく、また空き地も散見され、浜通りの魅力であるまち並みの連続性の確保が難しい状況になっている。住民並びに官民一体での意識の醸成が課題である。 ・浜通りの中心部にある「帆や」は、令和3年4月に焼津市による大規模改修工事を経て、昔ながらの趣を残しながら庭の宿「帆や」に生まれ変わった。同施設は宿泊だけでなくヨガやマルシェ等のイベントも開催されており、浜通りの資源を活用しながら交流人口の拡大を図っている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

(主) 焼津榛原線 (バス停「横町」付近)

位置図

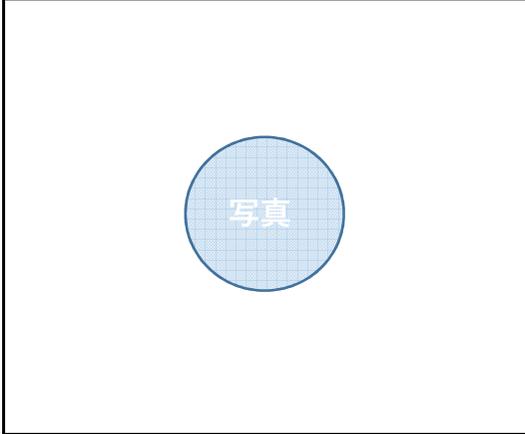


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑩焼津神社周辺（活用型）	検証時期	指定なし
位置	（市）焼津神社東線と（県）上青島焼津線の交差点	撮影方向	焼津神社南鳥居方向

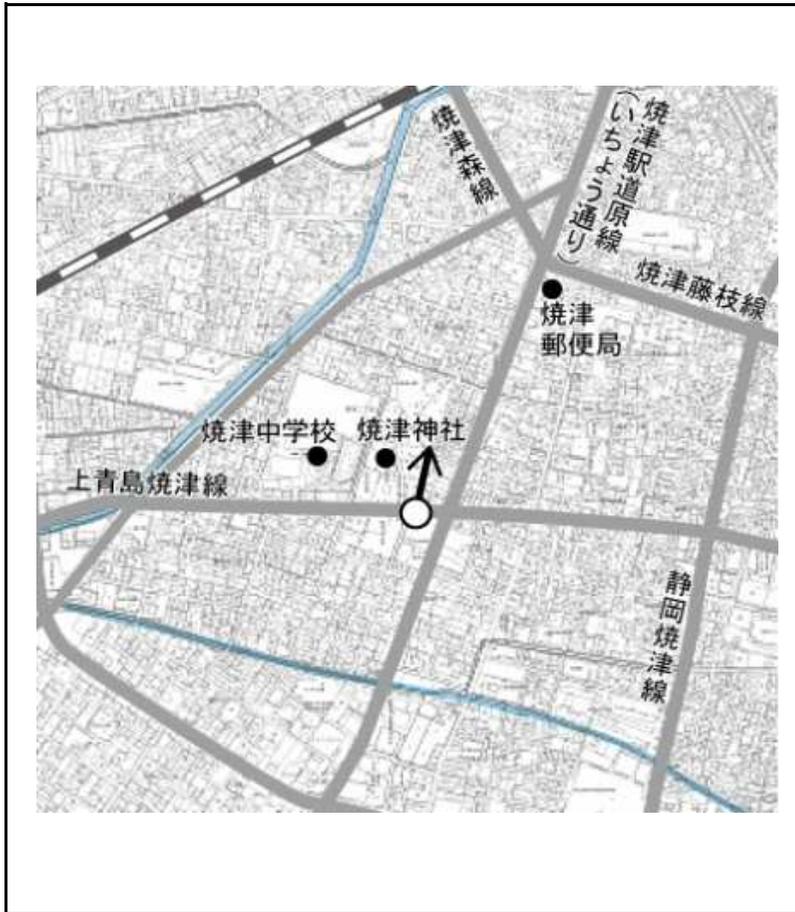
平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 10月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・焼津神社境内には歴史的な建造物や樹木が保存されており歴史的な景観を形成している。 ・正月、荒祭り、七五三等、行事の際には多くの人で賑わっている。令和2年に焼津神社の社務所及び参集殿の新築工事が完成し、駐車場の整備も行われ、さらに集客しやすい施設になった。 ・周辺の都市公園のフェンスを景観色にするなど、焼津神社に調和した空間づくりに努めていく。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

(市) 焼津神社東線と (県) 上青島焼津線の交差点
位置図

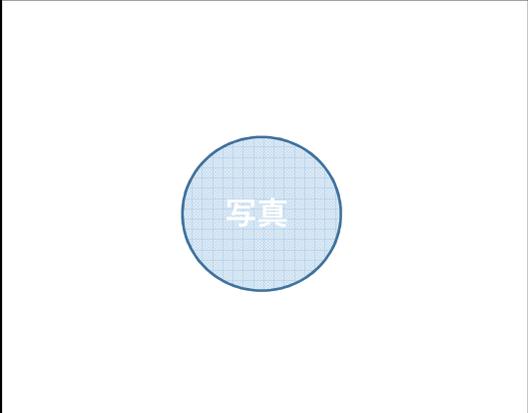


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑪焼津漁港（焼津地区内港）（活用型）	検証時期	指定なし
位置	小石川北岸壁（便所付近）	撮影方向	虚空蔵山、高草山方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 10月	令和 4年 11月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・港内に複数の遠洋漁船が停泊しており、港まちらしい景観を演出している。周辺には海産物を活かした焼津らしい飲食店が複数点在しており、昼時には多くの人でにぎわうエリアである。 ・漁具倉庫をリノベーションしたワーケーション施設が、令和5年度から本格稼働を予定している。漁具倉庫は漁港の景観とあわせて焼津漁業の歴史にふさわしい建物であり、今ある躯体や素材を最大限活かしながら改修を進めている。同施設が稼働することで焼津の新たなにぎわい交流拠点として、景観の向上にも繋がっていく。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
小石川北岸壁（便所付近）
位置図

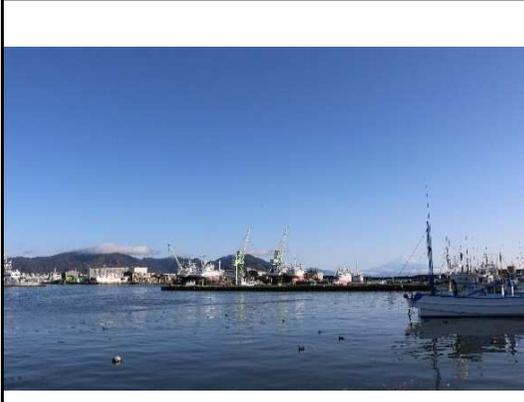
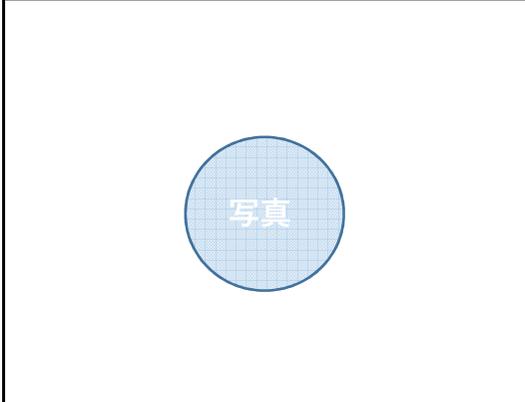


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番 号	⑫焼津漁港（小川地区内港）（活用型）	検証時期	指定なし
位 置	内港南岸壁（バス停「小川港前」付近）	撮影方向	虚空蔵山、高草山方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 3月	令和 4年 3月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・港内には多数の漁船が停泊しており、遠景の富士山と共に焼津らしい景観を形成している。 ・焼津漁港（小川地区）ではさばの水揚げの風景が見られ、さばの加工品は焼津の特産品にもなっている。 ・木屋川河口付近では釣り人が多く見られ、木屋川沿いをウォーキング、ランニングする地元住民の姿も見られる。 ・周辺の海岸付近は防災関連施設の整備が進められている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
内港南岸壁（バス停「小川港前」付近）
位置図

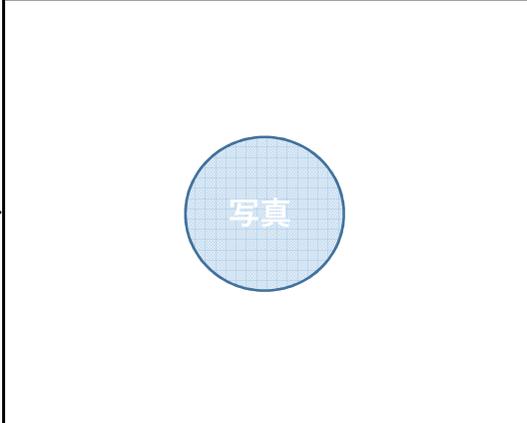


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑬焼津漁港（新港地区）（活用型）	検証時期	指定なし
位置	ふいしゅーな（展望台）	撮影方向	高草山方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・高草山を中心とした焼津の山々を見渡せるほか、令和3年に完成した焼津市役所の新庁舎や焼津市内の街並みも見渡すことができ、焼津ならではの景観が形成されている。撮影方向からは外れているが、遠景には富士山も望むことができる。 ・周辺には魚市場や土産店、深層水利用施設があり、観光地としての賑わいを見せている。 ・「親水広場ふいしゅーな」のフィッシングゾーンでは多くの人々が釣りを楽しみ、焼津の地域資源を活用した集客が図れている。また、砂場や池も整備されていることから小さな子供も楽しめる場所になっている。 ・観測地点は焼津の海、山、街といった焼津の景観が一望できるが、近景となる新港地区には未利用地があることから、水産振興やにぎわい等のポテンシャルがあり、焼津漁港の活性化に期待ができる。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
ふいしゅーな（展望台）
位置図

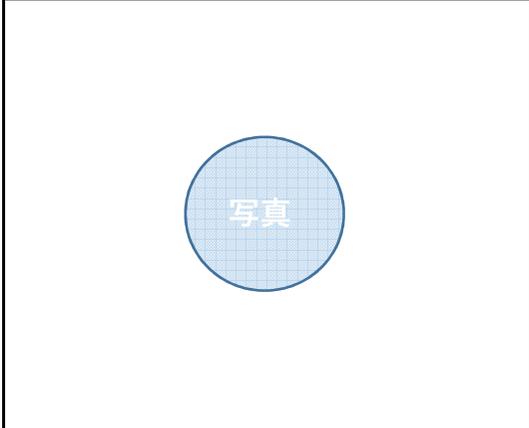


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑭大井川港周辺（活用型）	検証時期	指定なし
位置	大井川港漁業協同組合前岸壁	撮影方向	対岸（公共西岸壁）方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・大井川港は、県中部に位置する県内唯一の市営港湾で開港以来、県中部の物流拠点として地域経済の発展に大きな役割を果たしてきた。富士山静岡空港や東名高速道路・大井川焼津藤枝S I C、国道150号等の主要道路網に近接し、アクセスも良好であることから、物流において高いポテンシャルを持つ港として期待されている。 ・大井川港の桜えびは、全国で唯一駿河湾で漁獲（大井川港・由比港）され、漁協直営食堂「さくら」では、新鮮なしらすや桜えびを使った丼ぶりを味わうことができるなど、地場の食を活用した地域の活性化を図っている。 ・日常的に散策する人が見られ、また、踊夏祭や大井川港朝市等のイベントが例年開催され、市内外から多くの人を訪れている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
大井川港漁業協同組合前岸壁
位置図

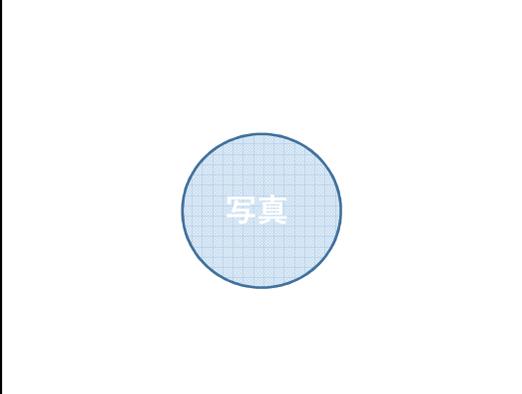


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑮すみれ台木屋川沿い桜並木周辺（活用型）	検証時期	3月下旬～4月上旬
位置	桜大橋交差点	撮影方向	木屋川下流方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 3月	令和 4年 3月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木の手入れや除草作業が適切に行われ、木屋川さくら（ソメイヨシノ）の良好な景観が保たれている。河川の両岸に桜の花が並び咲く、さくらの名所である。 ・ 桜並木は約1.5kmにわたり、河川沿いを散策する人が多く見受けられる。一方で、沿道には歩道がないため、運転手並びに散策する人への安全面の配慮が必要となる。活用型として花見客が使用できる駐車場の確保や歩道スペース、ベンチの設置等集客の仕掛けづくりを検討していく。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
桜大橋交差点
位置図

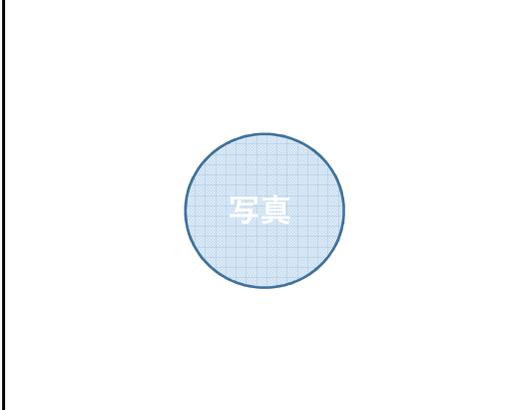


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

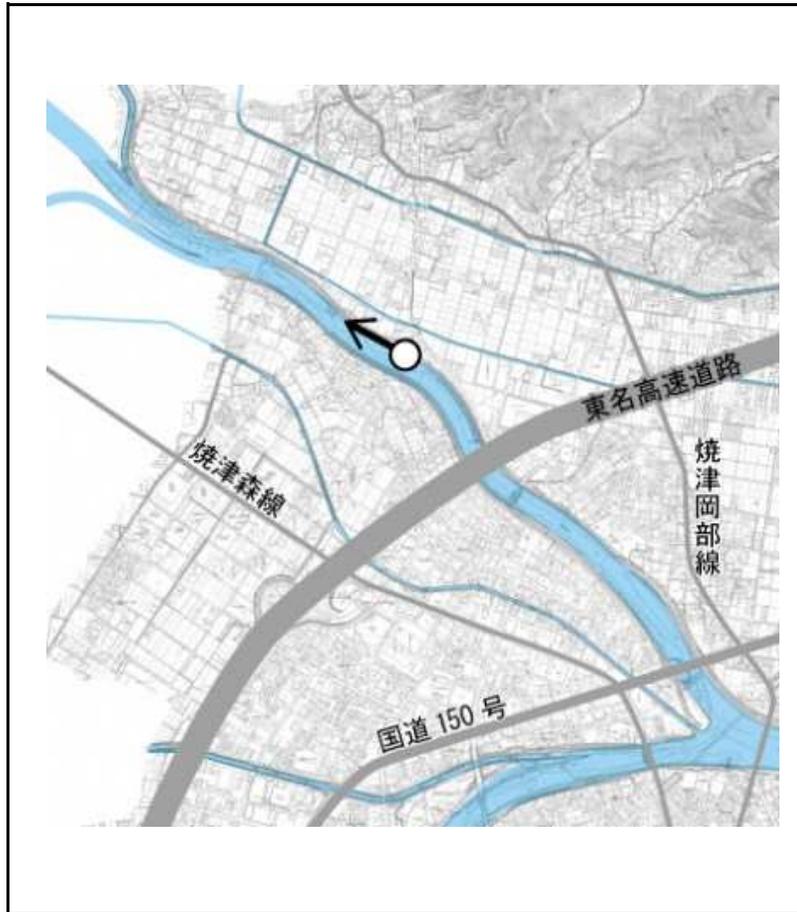
番 号	⑩朝比奈川堤山の手さくら周辺（活用型）	検証時期	2月中旬～3月上旬
位 置	（県）静岡御前崎自転車道線（東名高速から400m上流付近）	撮影方向	朝比奈川上流方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 2月	令和 年 月

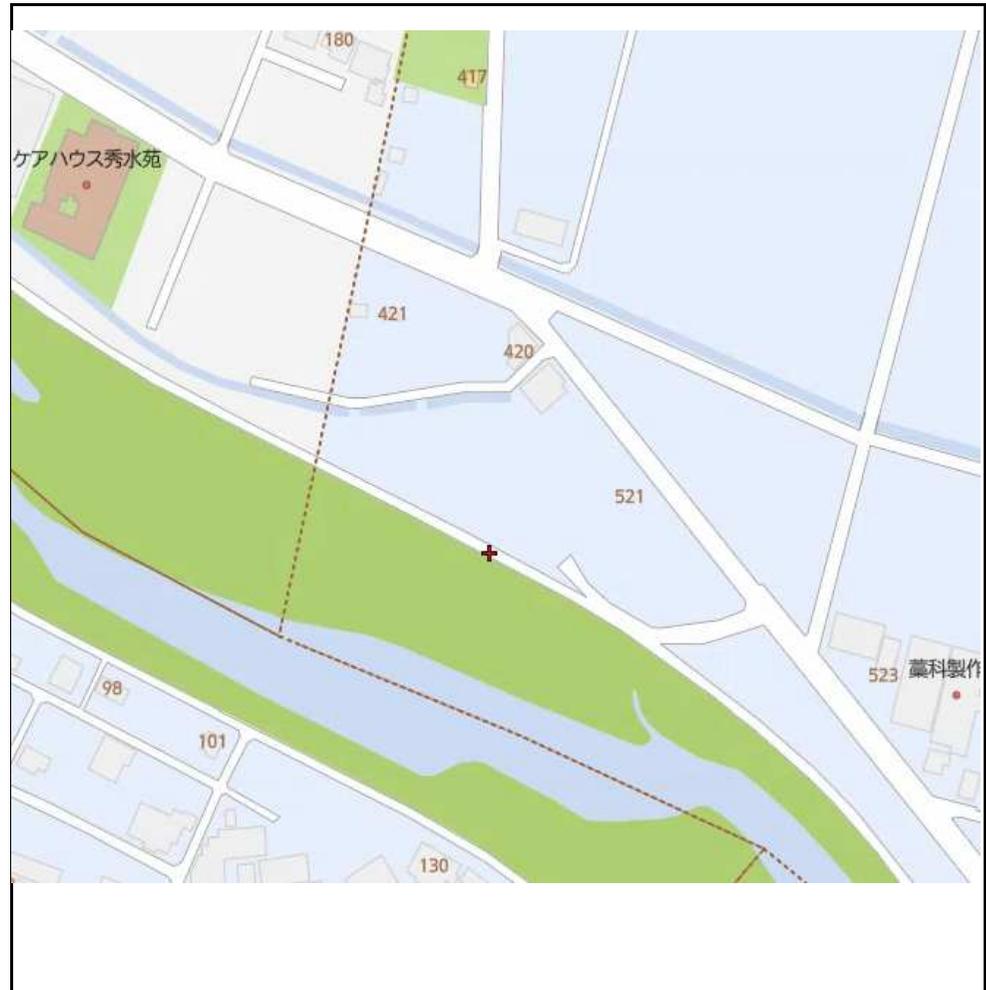
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の有志団体により約200本の山の手さくらが丹精に育てられ、現在の良好なさくら景観が保たれている。 ・ 早咲き桜は一足先に春の訪れを感じさせることから、2月中旬頃から多くの来訪者が散策する姿が見られる。毎年開催（新型コロナウイルスの影響で近年は中止）されている山の手さくらまつりは、市外からも多くの観光客が訪れ、にぎわいを生んでいる。 ・ 静岡御前崎自転車道線は、普段から自転車やジョギング、散歩等をする人が多く、地域の憩いの場になっている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
石津海岸公園（芝生広場中央四阿付近）
位置図

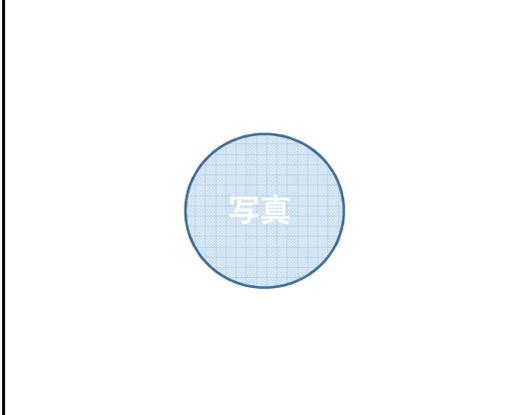


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑪大井川地域湧水地周辺（活用型）	検証時期	指定なし
位置	(市)1601号線と(市)1615号線の交差点(六軒屋大橋付近)	撮影方向	北西方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 7月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に点在する湧水地は、貴重な水源であり地域に潤いを与える水辺景観である。観測地点では、周辺の土地利用に伴い未舗装の道路がアスファルト舗装され、地域の住民や湧水を汲みに来る人々の利便性が向上している。 ・湧水は地域の貴重な資源として、昔から生活用水として利用されてきた。日々の暮らしの中の魅力的な景観であることから、適切に保全し、地域固有の景観としてまちづくりに活用する。 ・水槽の周辺の工事用バリケードや、電気引込み柱等が雑多な印象を与えている。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

(市) 6101号と(市) 1615号の交差点(六軒屋大橋付近)

位置図

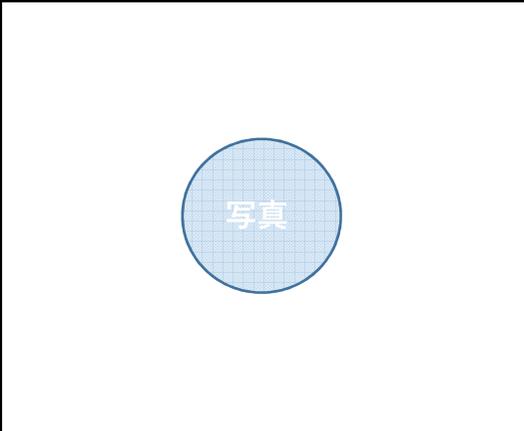


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑱ JR焼津駅周辺（創出型）	検証時期	指定なし
位置	シーガルブリッジ	撮影方向	シーテラス方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市の鉄道交通の玄関口であり、交通の中心地として一層の発展が求められる。 ・観測地点周辺のビルの壁塗装の塗替えの際には、景観計画の基準に合った色彩が採用された。 ・駅前広場内の焼津温泉の足湯施設では、高齢者を中心に団欒の場として毎日利用者で賑わっている。 ・冬シーズンはイルミネーション事業により幻想的な世界を楽しめ、スマートフォンなどで撮影する駅利用者も多く見受けられる。 ・駅前商店街は高齢化や後継者不足の煽りを受け近年は閑散とした雰囲気が続いているが、商店街では定期的にマルシェ等のイベントが開催されており、また空き店舗をリノベーション等により活用する動きもあり、少しずつ賑わいを取り戻してきている。令和3年7月に「ターントクルこども館」が開館し、休日を中心に多くの子連れ家族が来場しており、遠方からの来訪者も多い。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
石津海岸公園（芝生広場中央四阿付近）
位置図



拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

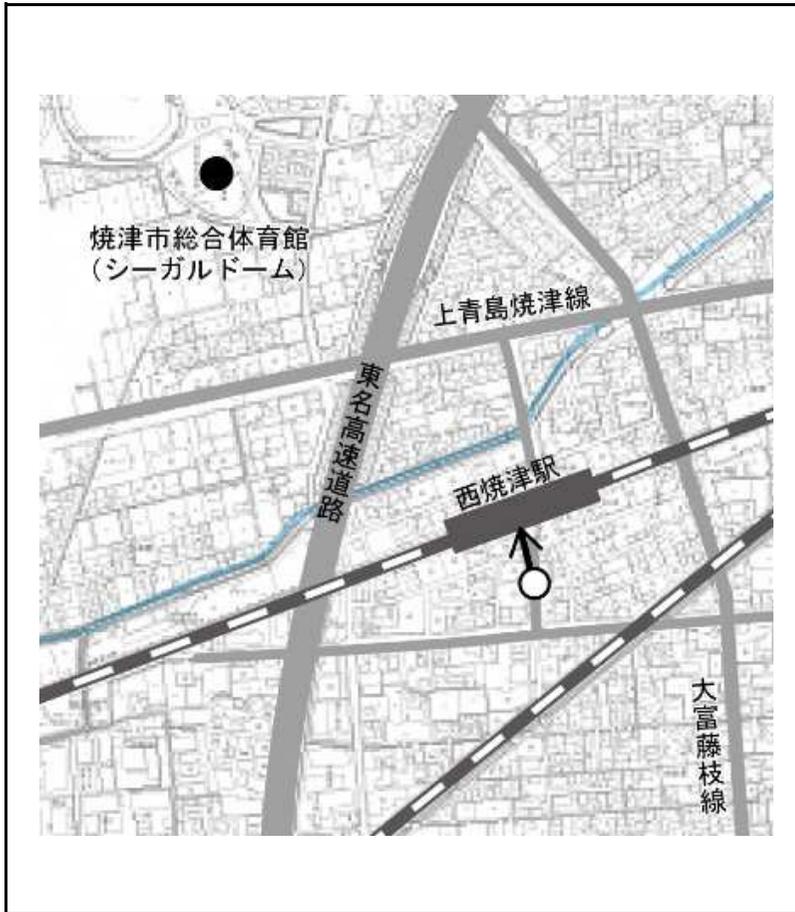
番号	⑱ JR西焼津駅周辺（創外型）	検証時期	指定なし
位置	（市）西焼津駅南線の間地点	撮影方向	JR西焼津駅（駅舎）方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市の鉄道交通の第二の玄関口であり、朝・夕の通勤・通学時には多くの駅利用者で混雑している。人口減少時代の中、同駅の位置する豊田地区は近年の住宅開発により、観測時（5年前）と比較し、人口が増加しているエリアである。 ・一方で駅周辺に店舗が少ないこともあり、通勤通学の時間帯以外で、駅前で人々が滞在する風景はあまり見られない。電車を利用する通勤者が多いことから駅周辺はパーキングが多く点在している。歩いて暮らせるまちづくりの推進を図りながら、にぎわいを創出していく必要がある。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
(市)西焼津駅南線の間中点
位置図

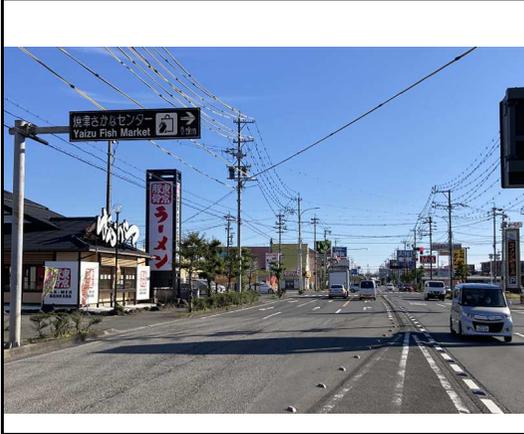
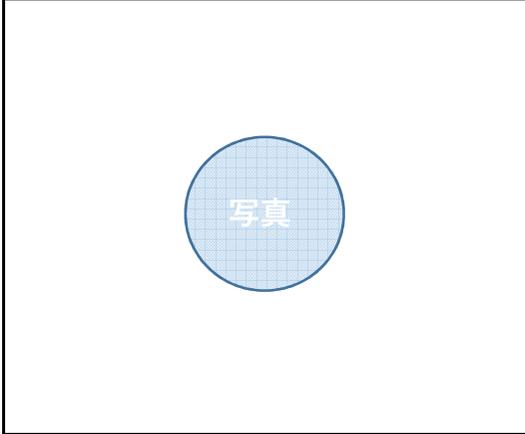


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

番号	⑳焼津 I C 周辺（創出型）	検証時期	指定なし
位置	（主）焼津森線（さかなセンター付近）	撮影方向	国道150号方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 6月	令和 4年 12月	令和 年 月

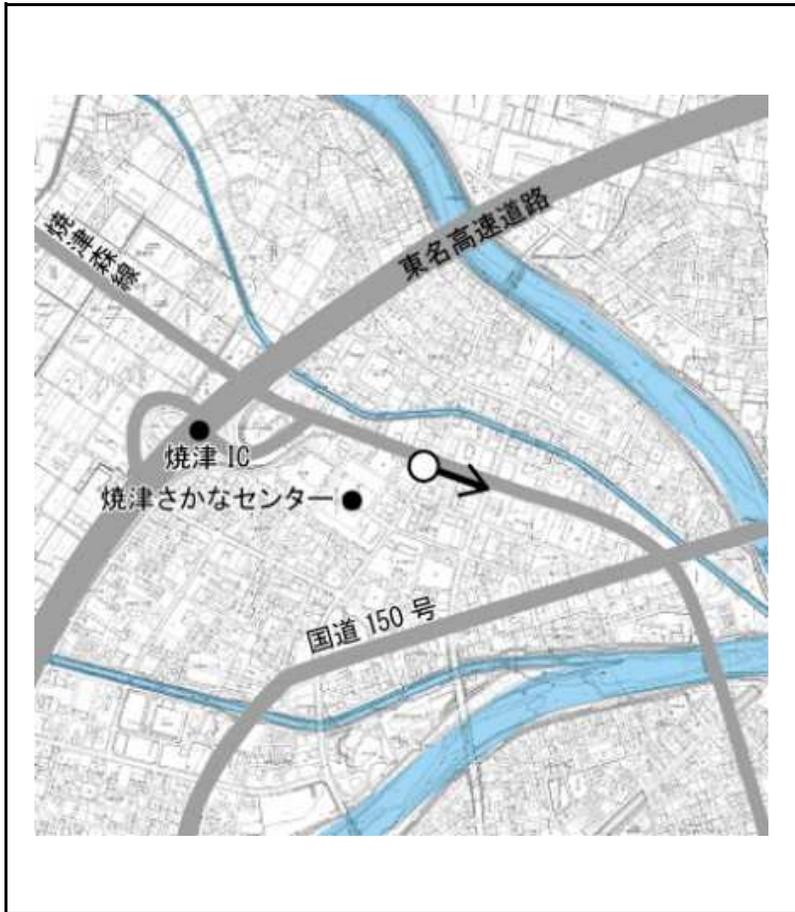
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・小売店舗や飲食店が建ち並び、活気とにぎわいある沿道景観を形成している。 ・野立て広告等の屋外広告物が沿道に並んでいる。今後は、景観を阻害しないよう屋外広告物のコントロールに努めていく。 ・電柱や電線が雑多な印象を与えている。道路を横断する電線の防護カバーが撤去された。 ・周辺にある焼津さかなセンターの来場者数がコロナ禍の影響により減少している。ウィズコロナの中で新しい観光客の呼び込み方を構築していく必要がある。にぎわいや観光客の増加によって、焼津市の自動車交通の玄関口の良い景観を創出していく。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置

(主) 焼津森線 (さかなセンター付近)

位置図

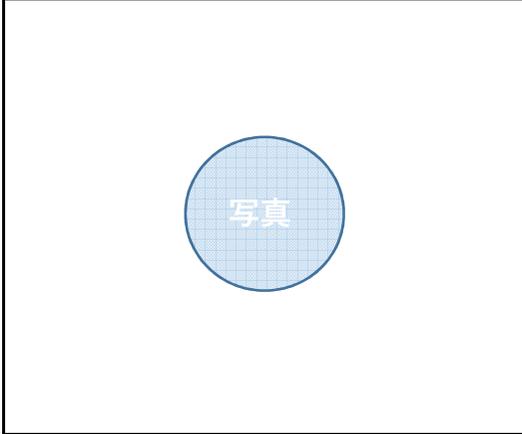


拡大位置図



焼津らしい景観地 定点観測地点の評価

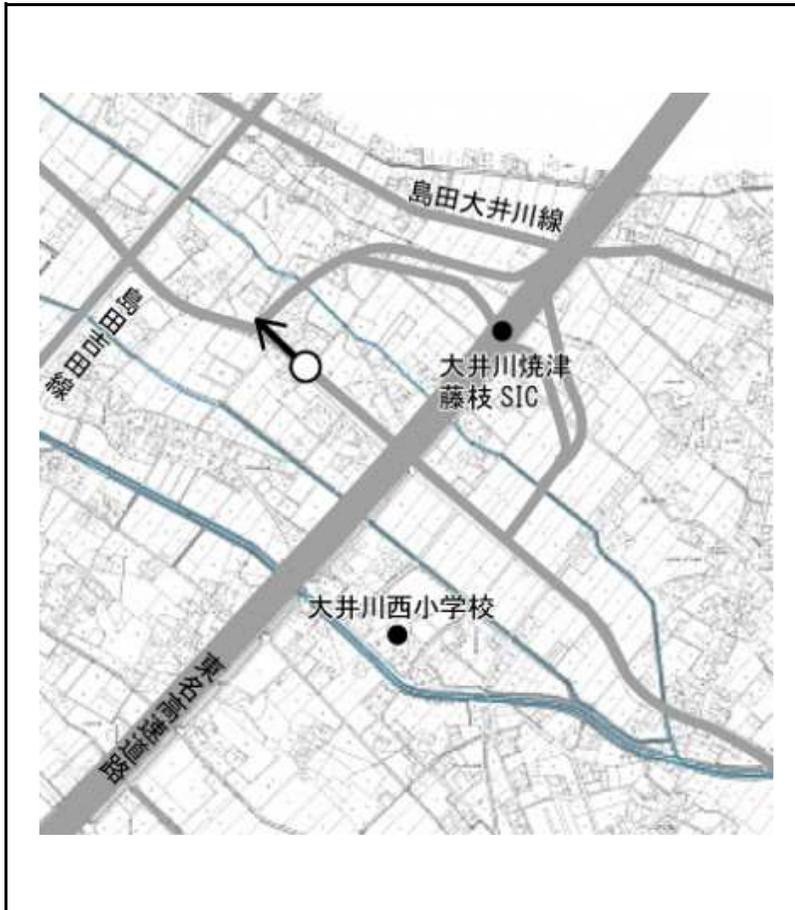
番号	②大井川焼津藤枝S I C周辺（創出型）	検証時期	指定なし
位置	市道0105号線（S I C上り入口南東側）	撮影方向	藤枝市方向

平成29年（当初）	令和4年（2022年）※	令和9年（2027年）※
		
撮影時期 平成29年 2月	令和 4年 12月	令和 年 月

評価
<ul style="list-style-type: none"> ・街並みに大きな変化は見られない。 ・平成28年3月に開通した大井川焼津藤枝S I Cの現在の一日当たりの出入り（利用）総数は、「統計やいづ」令和3年度日平均台数7,754台と、焼津市の自動車交通の第二の玄関口となっている。観測地点では運送用車両の往来が多く、物流交通の拠点となっている。S I Cの開通により、大井川地域全体の人やものの流れが活性化している。

※評価写真については、当初以外について5年毎に更新するものとする。

定点観測地点の位置
 (市) 0105線 (SIC上り入口南東側)
 位置図



拡大位置図

